

令和2年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より1.8℃低く、降水量は平年の35%、日照時間は平年の88%であり、低温・少雨に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.1℃高く、降水量は平年の31%、日照時間は平年の70%であり、少雨・寡照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より1.3℃高く、降水量は平年の45%、日照時間は平年の118%であり、少雨・多照に経過した。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年の39%、日照時間は平年の89%であった。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	20.5	22.3	△ 1.8	23.0	22.9	0.1	23.1	21.8	1.3	22.2	22.3	△ 0.1
最高気温(℃)	25.0	27.2	△ 2.2	27.2	28.0	△ 0.8	28.0	26.2	1.8	26.7	27.1	△ 0.4
最低気温(℃)	17.3	18.7	△ 1.4	19.4	19.0	0.4	18.7	18.4	0.3	18.5	18.7	△ 0.2
降水量(mm)	12.5	36.0	△ 23.5	15.5	50.4	△ 34.9	46.0	102.6	△ 56.6	74.0	189.0	△ 115.0
日照時間(hr)	52.4	59.5	△ 7.1	43.4	61.9	△ 18.5	53.3	45.2	8.1	149.1	166.6	△ 17.5

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より1日早い4月16日に行った。播種後の4月第4半旬は高温に経過し、播種後6日目に出芽揃となった。育苗期間中である4月下旬から5月中旬を通じての平均気温は平年並で、日照時間は平年並からやや下回った。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗において、茎数は平年並、主稈葉数は3.0枚で平年並からやや少なく、草丈は10.2~11.2cmで平年並から平年をやや上回った。100本あたりの地上部乾物重は2.24~2.38g、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21~0.22であり、平年並であった。苗の形質は概ね機械移植栽培基準の範囲であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや不良

事由:移植直後の5月第5半旬にごく低温で経過したため、生育は停滞し、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じた。6月上旬以降は高温に経過したものの、6月20日における草丈は28.7~29.2cm、茎数は234~325本、主稈葉数は6.8~7.1枚といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

7月20日 やや不良

事由:幼穂形成期は平年並から1日早かったが、6月下旬の低温・寡照により生育が緩慢となったことから、止葉始は平年より1日遅かった。主稈葉数は10.0~10.1枚と概ね平年並か平年をやや下回り、草丈は64.7~65.5cm m²あたり茎数は540~677本といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

8月20日 やや不良

事由:7月第6半旬は低温に経過したものの多照であったことから、出穂期および穂揃日数は平年並であった。穂長は「ゆめぴりか」で平年を1.7cm上回ったが「ななつぼし」で0.7cm下回った。稈長は平年を4.0~5.4cm下回り、m²あたり穂数は平年比75~85%と平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.17	△ 1	4.16	4.17	△ 1	
移植期 (月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	
幼穂形成期 (月.日)	6.29	6.30	△ 1	6.30	6.30	0	
止葉始 (月.日)	7.13	7.12	1	7.15	7.14	1	
出穂期 (月.日)	7.27	7.27	0	7.27	7.27	0	
成熟期 (月.日)		9.14			9.14		
穂揃日数 (日)	7.0	6.8	0.2	7.0	7.0	0.0	
登熟日数 (日)		49			49		
生育日数 (日)		150			150		
移植時地上部乾物重 (g/100本)	2.38	2.23	0.15	2.24	2.22	0.02	
苗の充実度(地上部乾物重/草丈)	0.21	0.21	0.00	0.22	0.21	0.01	
草丈 (cm)	移植時	11.2	10.4	0.8	10.2	10.4	△ 0.2
	6月20日	28.7	29.9	△ 1.2	29.2	30.2	△ 1.0
	7月20日	64.7	69.1	△ 4.4	65.5	70.0	△ 4.5
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	234	332	△ 98	325	398	△ 74
	7月20日	540	755	△ 215	677	869	△ 192
主稈葉数 (枚)	移植時	3.0	3.1	△ 0.1	3.0	3.3	△ 0.3
	6月20日	6.8	7.1	△ 0.3	7.1	7.3	△ 0.2
	7月20日	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
	止葉	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
稈長 (cm)	64.3	68.3	△ 4.0	61.2	66.6	△ 5.4	
穂長 (cm)	15.6	16.3	△ 0.7	18.3	16.6	1.7	
穂数 (本/m ²)	533	707	△ 174	688	811	△ 123	
一穂粒数 (粒/本)		49.8			42.2		
m ² あたり粒数 (百粒)		352			342		
稔実歩合 (%)		93.2			92.0		
登熟歩合 (%)		83.0			78.1		
籾摺歩合 (%)		76.0			73.6		
屑米歩合 (%)		6.7			9.6		
精玄米千粒重 (g)		22.6			23.2		
わら重 (kg/a)		66.7			67.0		
精籾重 (kg/a)		77.2			76.6		
精玄米重 (kg/a)		58.7			56.4		
屑米重 (kg/a)		4.2			6.0		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3)刈り取り面積は一区3.56m²。精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和2年7月下旬～8月中旬までの概況は次のとおりである。

7月

下旬：平均気温は平年より1.7℃低く、降水量は平年の19%、日照時間は98%であり、低温・少雨であった。

8月

上旬：平均気温は平年並、降水量は平年の44%、日照時間は70%であり、少雨・寡照であった。

中旬：平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の53%、日照時間は134%であり、高温、少雨・多照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の44%、日照時間は平年の97%であり、少雨であった。

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7月	下旬	19.8	21.5	△ 1.7	23.8	26.2	△ 2.4	16.8	17.9	△ 1.1	6.0	31.9	△ 25.9	4.0	2.4	1.6	51.5	52.6	△ 1.1
8月	上旬	22.1	22.1	0.0	25.9	27.1	△ 1.2	18.7	18.2	0.5	18.0	41.0	△ 23.0	6.0	2.5	3.5	39.0	56.1	△ 17.1
	中旬	22.1	21.1	1.0	27.1	25.5	1.6	18.2	17.7	0.5	46.0	87.7	△ 41.7	4.0	3.8	0.2	54.8	40.8	14.0
平均(合計)		21.3	21.6	△ 0.3	25.5	26.3	△ 0.7	17.9	17.9	△ 0.1	70.0	160.6	△ 90.6	14.0	8.7	5.3	145.3	149.5	△ 4.2

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(令和元年播種)

令和元年9月20日作況：平年並

事由：8月下旬以降、9月中旬まで断続的に降雨のある不順な天候が続いているが、播種は平年より1日早い9月18日である。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和元年10月20日作況：やや不良

事由：播種後も不順な天候が続き、出芽期は平年より1日遅い9月27日であった。10月2半旬以降も低温傾向のため生育は緩慢で、10月20日現在で草丈は平年並であったが、茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和2年5月20日作況：平年並

事由：越冬前の茎数は平年を下回った。越冬後の茎数も平年を下回ったが、越冬後の茎数の目安である800～1300本/m²を上回った。根雪始は平年より11日遅い12月18日で、根雪終は平年より13日早い3月21日で、積雪期間は平年より24日短い95日であった。雪腐病による冬損はほぼ平年並の軽微な発生であった。5月20日現在の草丈は平年値を上回り、茎数はほぼ平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和2年6月20日作況：平年並

事由：出穂期は平年より1日遅い6月3日となった。6月上旬以降干ばつ傾向で経過しているが、生育自体は順調に進んでおり、6月20日現在の草丈および茎数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和2年7月20日作況：やや良

事由：6月下旬は低温・寡照であったが、7月上中旬の気温および日照時間は平年並で、登熟は順調に進んだ。成熟期は平年並の7月18日で、登熟期間はほぼ平年並であった。成熟期における稈長は平年並で、穂長はやや長く、穂数は多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

令和2年8月20日作況：良

事由：千粒重は平年を下回ったが、容積重は平年並であった。穂数が平年より多く、穂長が平年よりやや長く、推定一穂粒数は平年値24.5粒/本に対し28.7粒と多かったことから、子実重は平年比129%と多収であった。

以上により、現在の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R1.月.日)	9.18	9.19	△1
出芽期	(R2.月.日)	9.27	9.26	1
出穂期	(R2.月.日)	6.3	6.2	1
成熟期	(R2.月.日)	7.18	7.18	0
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.5	0.4	0.1
草丈 (cm)	R1.10.20	20.0	19.7	0.3
	R2.5.20	55.5	48.4	7.1
	R2.6.20	93.1	96.0	△ 2.9
茎数 (本/m ²)	R1.10.20	536	725	△ 189
	越冬前(11月)	983	1423	△ 440
	越冬後(4月)	1920	2063	△ 143
	R2.5.20	1378	1330	48
	R2.6.20	793	793	0
成熟期に おける	稈長 (cm)	87	87	0
	穂長 (cm)	9.4	8.9	0.5
	穂数 (本/m ²)	796	712	84
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)	876	678	198
容積重	(g)	821	815	6
千粒重	(g)	38.3	39.5	△ 1.2
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)		129	100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況: 平年並

事由: 根雪終は、平年より13日早い3月21日であった。播種期は平年並の4月14日、出芽期は平年より1日遅い4月28日(「春よ恋」と4月29日(「はるきらり」)であった。草丈は平年並で、莖数は平年をやや下回る程度である。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況: 不良

事由: 出穂期は平年並であった。6月上中旬の降水量が少なく干ばつ傾向となったため、草丈は平年より4cm低く、莖数は平年比65~70%と少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

7月20日作況: 不良

事由: 稈長は平年よりもやや短く、穂数は平年比77~81%と少ない。倒伏の発生はなく、赤かび病の発生も少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

8月20日作況: 良

事由: 成熟期は平年より1日早かった。出穂から成熟期までの日数は、「春よ恋」で44日(平年45日)、「はるきらり」で48日(平年48日)となり、ほぼ平年並であった。登熟期間中の気温は平年並からやや低く経過し、登熟条件は良好であった。穂数は平年比77~81%と少なかったが、穂長は平年より長く、子実の充実は良好であり、千粒重と容積重は平年より重かった。さらに、推定一穂粒数も平年より多く(「春よ恋」平年26.8粒/穂、本年34.0粒/穂。「はるきらり」平年27.0粒/穂、本年35.9粒/穂)、子実重は平年比117~119%と多収となった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.14	4.14	0	4.14	4.14	0
出芽期	(月.日)	4.28	4.27	1	4.29	4.28	1
出穂期	(月.日)	6.14	6.14	0	6.12	6.13	△ 1
成熟期	(月.日)	7.28	7.29	△ 1	7.30	7.31	△ 1
草丈	5月20日	23.8	24.1	△ 0.3	26.9	26.5	0.4
(cm)	6月20日	80	84	△ 4	83	86	△ 4
茎数	5月20日	699	771	△ 72	609	738	△ 129
(本/m ²)	6月20日	455	696	△ 241	465	663	△ 198
7月20日	稈長 (cm)	88	91	△ 3	83	89	△ 6
または	穂長 (cm)	9.1	8.4	0.7	8.0	7.7	0.3
成熟期	の穂数 (本/m ²)	398	490	△ 92	365	473	△ 108
子実重	(kg/10a)	598	504	94	640	547	93
千粒重	(g)	44.2	41.0	3.2	48.8	44.5	4.3
容積重	(g)	846	829	17	849	830	19
品質	(等級)		1等			1等	
子実重平年対比	(%)	119	100	19	117	100	17

注) 令和元年度より畦幅20cmのドリル播種機による試験結果であり、平年値は前6カ年(平成26～令和元年)の全平均である。

3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は2日早い5月31日であった。主茎長はやや長く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:開花期は平年より5日早い7月11日であった。主茎長はやや長く、主茎節数はやや少ない。分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 やや不良

事由:前節7月中旬から8月上旬にかけて、降水量が少なく、干ばつ傾向に経過したことから、主茎長は平年よりやや短く、着莢数もやや少ない。前節に引き続き、主茎節数はやや少なく、分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	5.31	6.2	△ 2
開花期	(月.日)	7.11	7.16	△ 5
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	12.3	10.0	2.3
	7月20日	44.4	39.6	4.8
	8月20日	47.7	51.6	△ 3.9
	9月20日		51.6	
	成熟期		51.9	
主茎節数 (節)	6月20日	3.0	2.9	0.1
	7月20日	8.8	9.4	△ 0.6
	8月20日	8.8	9.9	△ 1.1
	9月20日		9.9	
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.8	6.6	0.2
	8月20日	7.0	7.3	△ 0.3
	9月20日		7.1	
	成熟期		6.9	
着莢数 (莢/株)	8月20日	66.6	75.6	△ 9.0
	9月20日		70.2	
	成熟期		68.8	
一莢内粒数			1.92	
子実重	(kg/10a)		413	
百粒重	(g)		38.1	
屑粒率	(%)		1.1	
品質	(等級)		2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：やや良

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。播種後、干ばつ傾向で経過したため出芽にややバラツキは見られたが、出芽期は平年より4日早い6月9日であった。6月20日現在で主茎長、主茎節数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：良

事由：6月下旬はやや低温に経過したが、7月以降は平年並みに経過し、適度な降水があった。このため、開花期は平年より6日早かった。7月20日現在、主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数は多い。

以上により、現在の作況は良である。

8月20日作況：不良

事由：気温は、7月下旬が平年よりやや低く、8月上旬以降は平年並からやや高く推移した。期間を通じて降水量はかなり少なかった。このため、干ばつの影響を強く受けて生育が抑制され、分枝数は平年より多いが、主茎長は平年より著しく短く、主茎節数はやや少なかった。中・上位節の着莢が不良で、着莢数は平年の7割程度と少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(月.日)	5.21	5.24	△ 3
出芽期	(月.日)	6.04	6.13	△ 9
開花期	(月.日)	7.20	7.26	△ 6
成熟期	(月.日)		9.14	
主茎長 (cm)	6月20日	7.2	4.0	3.2
	7月20日	28.9	17.7	11.2
	8月20日	38.9	62.5	△ 23.6
	成熟期		64.1	
主茎節数 (節)	6月20日	2.3	1.6	0.7
	7月20日	9.0	8.1	0.9
	8月20日	13.4	14.7	△ 1.3
	成熟期		14.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.6	2.9	3.7
	8月20日	5.9	3.7	2.2
	成熟期		3.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	40.2	56.8	△ 16.6
	成熟期		52.3	
一莢内粒数			6.17	
子実重	(kg/10a)		330	
百粒重	(g)		13.3	
屑粒率	(%)		5.5	
品質	(等級)		4上	—
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より13日早い3月21日で、植付期は平年より1日早い4月24日、萌芽期は平年より5日早い5月18日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：6月の気温が高く経過したため、開花始は平年より4日早い6月15日であった。降水量はかなり少なかったが影響はなく、茎長は平年並み、茎数は平年よりかなり多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬はやや低温に経過したが、7月以降は平年並に経過し、適度な降水があった。茎長は平年よりやや短い、茎数は平年よりかなり多い。すでに茎葉の黄化が始まっているが特に病害発生はみられない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：気温は、7月下旬はやや低く、8月上旬以降は平年並からやや高く推移したため茎葉の黄変は進んだが、8月中旬の降雨により残った茎葉が二次成長気味となっているため、8月20日現在、枯凋期に達していない。上いも平均一個重は平年

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.24	4.25	△ 1
萌芽期	(月.日)	5.18	5.23	△ 5
開花始	(月.日)	6.15	6.19	△ 4
枯凋期	(月.日)		8.18	
茎長	6月20日	38	37	1
(cm)	7月20日	43	47	△ 4
茎数	6月20日	5.7	4.3	1.4
(本/株)	7月20日	5.9	4.5	1.4
8月20日における				
上いも数	(個/株)	12.4	11.7	0.7
上いも平均一個重(g)		91	90	1
上いも重	(kg/10a)	5007	4624	383
でん粉価	(%)	15.7	15.5	0.2
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		11.8	
上いも平均一個重(g)			90	
上いも重	(kg/10a)		4658	
中以上いも重(kg/10a)			3986	
でん粉価	(%)		15.5	
上いも重平年対比 (%)			100	
中以上いも重 // (%)			100	
でん粉価 // (%)			100	

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均。
「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。